
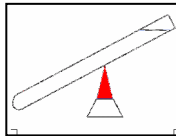


言語活動の充実に関する実践事例

学校名 (三次市立安田小学校)

- ① 教科等 理科 ② 学年 第4 学年
- ③ 単元名 金属, 水, 空気と温度—温まり方のちがい—
- ④ 本時の目標 水は熱せられた部分が移動して上から温まることを実験を通して明らかにし, 金属の温まり方と比較して説明することができる。
- ⑤ 学習の流れ (4 時間目/全9 時間)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 前時の復習をする。 2 学習問題をつかむ。	・前時の金属のあたたまり方の学習を想起し, 思考を働かせるための基礎的な知識として確認させる。 	
水は, 金属と同じように, 熱したところから順にあたたまるといえるだろうか。		
3 予想を立てて, 意見交流をする。 ○友達の考えを聞いて予想の変更をする。	予想される児童の反応 ・私は, 熱したところからあたたまると思います。そのわけは, 金属の時も熱したところから近いところからあたたまり, 段々と熱が広がっていったからです。 ・私は, 水は上の方からあたたかくなると思います。そのわけは, お風呂に入ろうと思った時に上の方は熱かったけれど, 底がまだ冷たかったことがあったからです。 ・ワークシートに根拠をはっきりさせて予想を記入させる。また, 図でも考え方を示させる。 	
4 実験方法を確認する。 5 実験をする。 6 結果を発表する。	・実験については, 次の3点を確認させる。 ① 熱する場所 (下・中・上) ② 示温テープ (サーモテープ) の使い方 ③ 示温インクの色の変化の意味 ・結果については黒板に記入させ, 学級全体の結果が全て把握できるようにさせる。 ・サーモテープの色がどういう順に変わったか図を使って説明させる。	・水の温まり方をサーモテープを使って調べたり, 記録している。〔観察・実験の技能〕 (行動観察・ノート)
7 わかったことをまとめる。 8 振り返りをする。 ○疑問に思ったことを発表する	期待される児童のまとめ ・私は水も金属と同じように熱したところからあたたまると思っていたけれど, 実験の結果から, 水はあたたまったところよりも上の方からあたたまっていった。このことから水は, 金属とちがって, 熱したところより上からあたたまるということがわかった。次の時間は, なぜ, 水は上の方からあたたまるのかを考えてみたい。	・水の温まり方を金属の温まり方と比較しながら, 考察し, 自分の考えを表現している。〔科学的な思考・表現〕 (行動観察・発表)
9 次時の予告をする。	・水の温まり方が金属と違うことについて生じた疑問を出させ, 次の学習へつなぐ。	

〔言語活動の充実〕

設定した言語活動を通して育てたい力

○ 自分の考えを, 理由をつけて話すことができる。また, 相手意識をもって友達に分かるように, 黒板やワークシートなどを使って図示したり, 実物を提示したりして説明することができる。

言語活動の充実のための指導の工夫

○ 相手意識をもって分かりやすく発表させるために, 黒板を使って作図しながら説明したり, 実物を使って操作しながら説明したりする活動を, 日常の学習活動を通じて行う。

○ 学習問題と照らし合わせてまとめることができるように意識させる。

○ 国語科との関連を図り, 本単元で学習したことを, 単元の最後に説明文(理科的説明文)にまとめる。